

グローバル厳選バランスファンド ＜愛称 投資のはぐくみ＞

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第4期(決算日2025年11月10日)

作成対象期間(2024年11月12日～2025年11月10日)

第4期末(2025年11月10日)	
基準価額	10,679円
純資産総額	2,943百万円
第4期	
騰落率	3.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「グローバル厳選バランスファンド」は2025年11月10日に第4期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、主として、世界各国（日本を含む先進国および新興国）の株式、債券、不動産投信等の様々な資産を実質的な投資対象とする投資対象ファンドに分散投資します。特徴の異なる複数のファンドを組み入れることで分散効果を高め、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ 「ファンド情報」から該当ファンドの「運用報告書（全体版）」を選択

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。



ちばぎんアセットマネジメント

東京都墨田区江東橋2丁目13番7号

<照会先>

電話番号：03-5638-1451

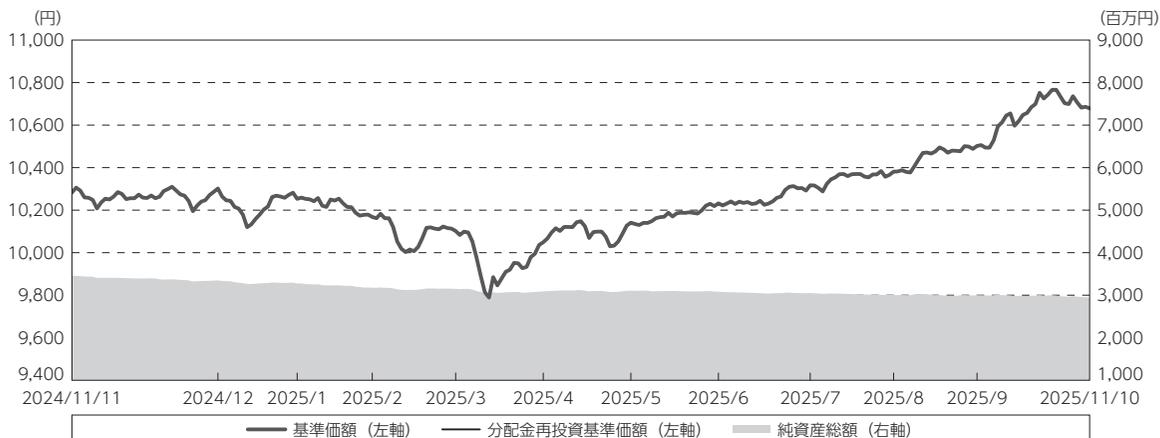
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

ホームページ：http://www.chibagin-am.co.jp/

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年11月12日～2025年11月10日)



期 首：10,283円

期 末：10,679円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 3.9% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年11月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの投資対象ファンドの騰落率は以下の通りです。

組入ファンド	投資資産	当期末 組入比率	騰落率
日本株グロースファンド（適格機関投資家限定）	国内株式	4.6%	22.6%
日本中小型株ファンド（適格機関投資家限定）	国内株式	2.3%	21.4%
日本株好配当マザーファンド	国内株式	7.1%	26.2%
MFS外国株グロース・ファンドF（適格機関投資家専用）	海外株式	3.9%	3.7%
グローバル・フランチャイズ・ファンドM-2（適格機関投資家専用）	海外株式	3.6%	-3.6%
ノムラFOfs用・グローバル・クオリティ・セレクト（適格機関投資家専用）	海外株式	4.3%	14.6%
日本債券インデックス・ファンド<適格機関投資家限定>	国内債券	27.2%	-4.4%
ステート・ストリート先進国債券インデックス・オープン（為替ヘッジあり）	海外債券 （為替ヘッジあり）	27.1%	0.5%
ステート・ストリート先進国債券インデックス・オープン	海外債券 （為替ヘッジなし）	5.0%	6.5%
グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	グローバルリート	7.5%	2.2%
FOfs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり（適格機関投資家専用）	金 （為替ヘッジあり）	7.2%	39.9%

(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。新規組入ファンドの騰落率は当ファンドへの組入日からのものです。

(注2) 騰落率は分配金再投資ベースです。

当ファンドの基準価額は、当期末において10,679円となり、期首比3.9%（信託報酬控除後、分配金再投資ベース）の上昇となりました。なお、当期の分配は見送りしました。

国内株式や金（為替ヘッジあり）などがプラスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

(2024年11月12日～2025年11月10日)

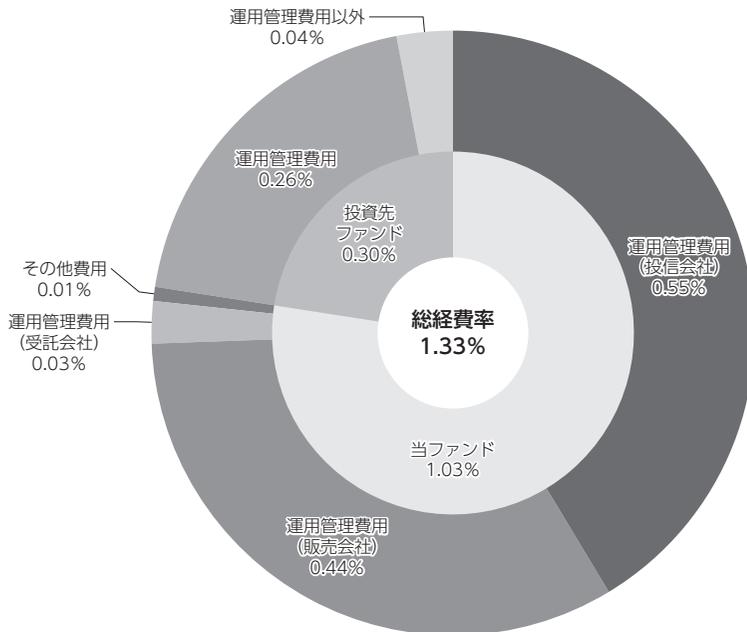
項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	105 (56) (45) (3)	1.020 (0.548) (0.439) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	1 (1)	0.014 (0.014)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監 査 費 用)	1 (1)	0.005 (0.005)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	107	1.039	
期中の平均基準価額は、10,283円です。			

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応しているものを含まず。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。
(注5) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.33%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.33
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注5) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドの費用は、投資先運用会社などから提供された入手可能なデータや情報を基にちびざんアセットマネジメントが作成しています。

(注8) 投資先ファンドのうち、「運用管理費用以外」には、外国籍ファンドの費用の一部が含まれていない場合があります。

(注9) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年11月10日～2025年11月10日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの設定日は2022年2月18日です。

	2022年2月18日 設定日	2022年11月10日 決算日	2023年11月10日 決算日	2024年11月11日 決算日	2025年11月10日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,332	9,528	10,283	10,679
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 6.7	2.1	7.9	3.9
純資産総額 (百万円)	2,758	4,684	4,394	3,453	2,943

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2022年11月10日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注4) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

投資環境

(2024年11月12日～2025年11月10日)

国内株式市場

国内株式市場は上昇しました。期初から2024年12月下旬にかけては、米国の追加利下げ観測の高まりや外国為替市場における円安米ドル高進行などを背景に上昇しました。2025年3月中旬にかけては、米国による対中半導体規制強化や中国発の生成AI（人工知能）に対する警戒感の高まり、米国の関税政策への警戒感などを受け下落しました。その後持ち直す局面があったものの、4月上旬にかけてはトランプ米国大統領による相互関税の発表を受けて、世界経済への不透明感が高まり、急落しました。その後、トランプ米国大統領が相互関税の上乗せ部分について、一部の国・地域は90日間停止すると発表したことに加え、主要企業の決算発表を通じて米国の関税による影響への懸念が和らいだことや米中間の緊張緩和に向けた動き、AI関連投資の拡大期待などを受けて持ち直しの動きとなり、7月下旬には日米関税交渉合意を受けて一段高となりました。8月上旬にかけては高値警戒感や米国の雇用統計の悪化などを背景に利益確定売りが優勢となりましたが、その後は、底堅い企業業績や米国の利下げ期待の高まりなどを背景に株式市場は騰勢を強め、期末にかけては、高市新政権が発足し財政拡張的な政策への期待が高まったことや、米中貿易摩擦に対する懸念の後退などを追い風に上昇しました。

海外株式市場

海外株式市場は上昇しました。期初から2025年1月中旬にかけては、トランプ米国大統領の減税策や規制緩和への期待などが支援材料となった一方で、米国の利下げ観測の後退や企業業績悪化への懸念から上値の重い展開となりました。2月中旬にかけては、ドイツの財政拡張観測などを背景とした欧州株式市場の上昇や、米国のインフレ懸念の後退などを受けて上昇したものの、3月中旬にかけてはトランプ米国大統領の関税政策に対する懸念などから下落しました。その後持ち直す局面があったものの、4月上旬にはトランプ米国大統領による相互関税の発表を受けて世界経済の先行き不透明感の高まりや貿易紛争拡大への懸念などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、急落しました。10月下旬にかけては米国と各国の貿易交渉の進展や米国の利下げ観測の高まり、AI関連投資拡大への期待、堅調な企業業績などを背景に大きく上昇しました。期末にかけては、米国の政府機関閉鎖を巡る不透明感や米景気減速懸念などから下落する局面もありましたが、政府機関閉鎖の解消や米中貿易摩擦懸念の後退などから持ち直しの動きとなりました。なお、外国為替市場では日本と米国における金融政策の方向性や金利動向を巡り円高・円安双方に振れる局面がありましたが、前期末比では小幅に円安米ドル高が進行しました。

国内債券市場

国内債券市場は下落（金利は上昇）しました。期初から2024年11月下旬にかけては、日銀の利上げ観測や石破政権による経済政策に伴う国債増発への警戒感などから下落しました。その後、2025年3月中旬にかけては、日銀による利上げ観測の高まりや米国の利下げ観測の後退、ドイツの防衛費拡大を背景とした金利高が波及したことなどから下落しましたが、4月上旬には米国の相互関税発表を受けてリスク回避の動きが広がり、大幅に上昇（金利は低下）しました。5月下旬にかけては、米国の関税政策への過度な懸念が後退したことや、超長期債の需給不安などを背景に下落しました。6月下旬にかけては、超長期債の発行減額観測や中東情勢の緊迫化、米国金利の低下などを背景に上昇しましたが、7月中旬にかけては参議院選挙を前にした財政拡張懸念や、日米関税交渉の合意を受けた日銀の利上げ観測の高

まりなどを受けて下落しました。その後、8月上旬にかけては、米国の利下げ観測を受けた米国長期金利の低下や日銀の利上げへの慎重な姿勢を受けて上昇しましたが、期末にかけては、株価上昇を受けた投資家心理の改善や日銀の利上げ観測、次期政権の拡張的な財政政策への警戒感などを背景に下落しました。

海外債券市場

海外債券市場は上昇（金利は低下）しました。期初から2025年1月中旬にかけては、トランプ米国政権の政策がインフレ圧力を高めるとの見方や米国の利下げペースの鈍化懸念、ドイツ政治の先行き不透明感などから下落（金利は上昇）しました。3月下旬にかけては、米経済指標の悪化を受けた米国景気の減速懸念や米国の関税政策が欧州経済に悪影響を及ぼすとの見方などから上昇しました。その後、4月下旬にかけては米国の相互関税発表を受けて世界景気の減速懸念が高まったほか、欧米での利下げ観測などを受けて上昇しました。5月中旬にかけては米国と各国との関税交渉の進展期待を背景とした投資家心理の改善などを受けて下落しましたが、6月下旬にかけては米国でのインフレ懸念が後退し利下げ観測が高まったことや、中東情勢の緊迫化などを受けて上昇しました。期末にかけては、米国と各国の関税交渉進展による投資家心理の改善や欧州の利下げ終了観測、フランスの政治不安、英国の財政懸念などを受けて下落する局面もありましたが、米国の利下げ観測の高まりやフランスの政治不安後退、英国の利下げ観測などを受けて上昇しました。なお、外国為替市場では日本と米国における金融政策の方向性や金利動向を巡り円高・円安双方に振れる場面がありましたが、前期末比では小幅に円安米ドル高が進行しました。

グローバルリート市場

グローバルリート市場は上昇しました。期初から2025年1月中旬にかけては、米国の利下げペース鈍化の懸念や欧米長期金利の上昇などを受け、下落しました。3月上旬にかけては、米インフレ懸念の後退や米ハイテク株の下落を通じたリスク回避姿勢を受けて米国の長期金利が低下したことや、ウクライナを巡る地政学リスクの後退などを受けて上昇しました。その後、トランプ米政権の関税政策を巡る不透明感などから軟調な推移となり、4月上旬には米国の相互関税発表を受けた世界的な株安を受けて急落しましたが、下旬にかけては米国の関税政策に対する過度な懸念の後退や欧州中央銀行（ECB）の利下げ観測の高まりを受けて上昇しました。7月下旬にかけては中東情勢の悪化や欧州の利下げ終了観測など長期金利の上昇が重荷となった一方で、米国と各国の関税交渉進展による投資家心理の改善などを受けて上昇しました。10月下旬にかけては、米国の経済指標軟化を受けた利下げ観測の高まりなどを背景に上昇しましたが、期末にかけてはパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が年内の追加利下げに対して慎重な姿勢を示したことなどを受け、下落しました。なお、外国為替市場では日本と米国における金融政策の方向性や金利動向を巡り円高・円安双方に振れる場面がありましたが、前期末比では小幅に円安米ドル高が進行しました。

金市場

金価格は上昇しました。期初から2024年12月下旬にかけては、ロシア・ウクライナ戦争の激化や中東の地政学リスクの高まりなどが買い材料となった一方で、米国の利下げ観測の後退を受けた米国の長期金利の上昇が重荷となり、もみ合う展開となりました。2025年3月下旬にかけては、米国のインフレ

指標の鈍化を背景とした米国の長期金利の低下やトランプ米政権の政策に対する不透明感、地政学リスクの高まりなどを背景に上昇しました。4月上旬には、米国の相互関税の発表を受けた世界的な貿易戦争拡大への懸念から一時下落しましたが、その後は安全資産としての逃避買いが膨らみ、下旬にかけて大きく上昇しました。8月下旬にかけては、世界経済の不透明感や地政学リスクの高まり、米国の利下げ観測の高まりなどが買ひ材料になった一方で、米国と各国の貿易交渉進展への期待などが重荷となり、一進一退の展開となりました。10月中旬にかけては、米国の利下げ観測の高まりや米国の政府機関の閉鎖を巡る不透明感などを背景に上昇しました。11月上旬にかけては、米中貿易摩擦への懸念が後退したことや、これまでの上昇に伴う過熱感から利益確定売りが広がり下落しましたが、期末にかけては反発の動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年11月12日～2025年11月10日)

○当ファンド

当期末における各投資対象ファンドの組入比率は以下の通りです。なお、各投資対象ファンドへの投資割合は、「株式会社 格付投資情報センター (R&I)」が算出した資産配分を用いて、当社が基本のポートフォリオ (最適資産配分) を決定し、その配分を基本とします。

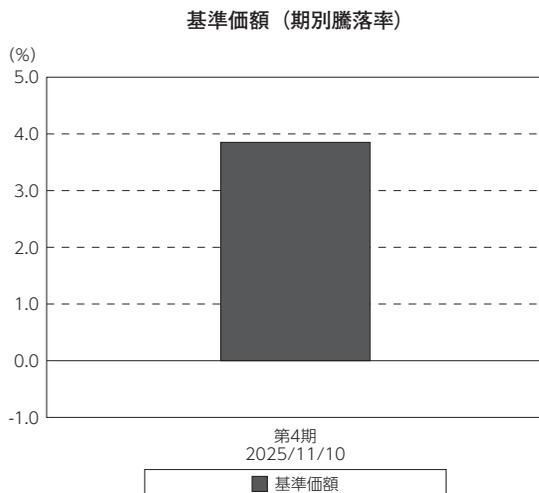
組入ファンド	投資資産	当期首 組入比率	当期末 組入比率
日本株グロースファンド (適格機関投資家限定)	国内株式	4.7%	4.6%
日本中小型株ファンド (適格機関投資家限定)	国内株式	1.8%	2.3%
日本株好配当マザーファンド	国内株式	7.1%	7.1%
MFS外国株グロース・ファンドF (適格機関投資家専用)	海外株式	4.8%	3.9%
グローバル・フランチャイズ・ファンドM-2 (適格機関投資家専用)	海外株式	4.7%	3.6%
ノムラF0Fs用・グローバル・クオリティ・セレクト (適格機関投資家専用)	海外株式	4.8%	4.3%
日本債券インデックス・ファンド<適格機関投資家限定>	国内債券	26.6%	27.2%
ステート・ストリート先進国債券インデックス・オープン (為替ヘッジあり)	海外債券 (為替ヘッジあり)	25.0%	27.1%
ステート・ストリート先進国債券インデックス・オープン	海外債券 (為替ヘッジなし)	5.2%	5.0%
グローバル・リアルエステート・ファンド (適格機関投資家向け)	グローバルリート	8.8%	7.5%
F0Fs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり (適格機関投資家専用)	金 (為替ヘッジあり)	6.3%	7.2%

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年11月12日～2025年11月10日)

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

右記グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2024年11月12日～2025年11月10日)

基準価額水準、市況動向などを勘案し、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第4期
	2024年11月12日～ 2025年11月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	760

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後も最適資産配分に応じて、運用スタイルや投資対象地域など、特徴が異なる複数のファンドを組み合わせることで、投資信託財産の長期的な成長ならびに安定した運用を目指してまいります。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更をいたしました。
(変更日：2025年4月1日)

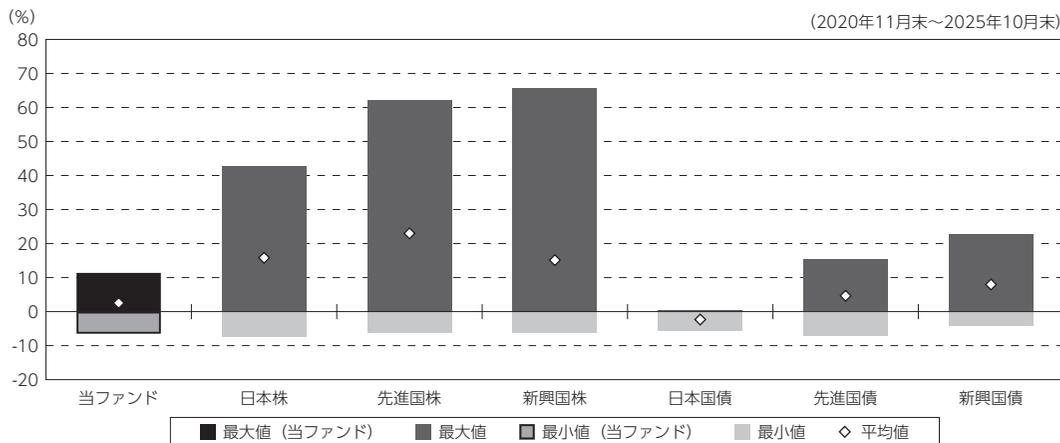
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2022年2月18日から無期限です。
運用方針	投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	主として、世界各国（日本含む先進国および新興国）の株式、債券、不動産投信等の様々な資産を実質的な投資対象とする投資対象ファンドに分散投資します。
運用方法	特徴の異なる複数のファンドを組み入れることで分散効果を高め、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等のうちから、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配を行う方針です。ただし、分配対象金額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 収益分配に充てなかった留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	11.4	42.8	62.2	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 6.5	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 5.6	△ 7.1	△ 4.1
平均値	2.5	15.8	23.0	15.1	△ 2.3	4.6	8.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年11月から2025年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2023年2月以降の年間騰落率を用いております。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：Morningstar 日本株式指数

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株：Morningstar 新興国株式指数

日本国債：Morningstar 日本国債指数

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年11月10日現在)

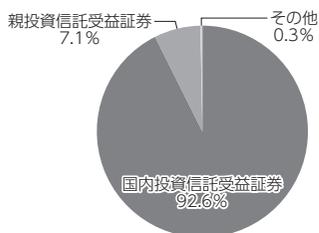
○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
	%
日本債券インデックス・ファンド<適格機関投資家限定>	27.2
ステート・ストリート先進国債券インデックス・オープン(為替ヘッジあり)	27.1
グローバル・リアルエーステート・ファンド(適格機関投資家向け)	7.5
その他	37.8
組入銘柄数	11銘柄

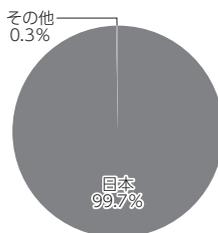
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

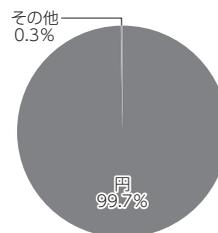
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注2) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注3) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第4期末	
	2025年11月10日	
純資産総額	2,943,792,431円	
受益権総口数	2,756,670,689口	
1万口当たり基準価額	10,679円	

(注) 期中における追加設定元本額は38,696,852円、同解約元本額は640,776,500円です。

組入上位ファンドの概要

日本債券インデックス・ファンド<適格機関投資家限定>

【基準価額の推移】

(2024年3月6日～2025年3月5日)



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年3月6日～2025年3月5日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	10 (5) (1) (3)	0.099 (0.055) (0.011) (0.033)
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	10	0.099

期中の平均基準価額は、9,914円です。

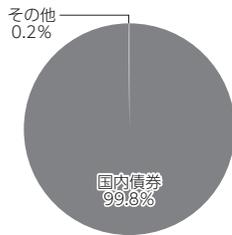
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

銘 柄 名	利 率	償 還 日	比率
1 第361回利付国債(10年)	0.100	2030/12/20	2.0
2 第1回クライメート・トランジション利付国債(10年)	0.700	2033/12/20	1.7
3 第363回利付国債(10年)	0.100	2031/6/20	1.4
4 第151回利付国債(5年)	0.005	2027/3/20	1.3
5 第346回利付国債(10年)	0.100	2027/3/20	1.2
6 第347回利付国債(10年)	0.100	2027/6/20	1.1
7 第344回利付国債(10年)	0.100	2026/9/20	1.0
8 第360回利付国債(10年)	0.100	2030/9/20	1.0
9 第168回利付国債(5年)	0.600	2029/3/20	0.9
10 第350回利付国債(10年)	0.100	2028/3/20	0.9
組入銘柄数		390銘柄	

(注) 組入比率は、債券時価総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2025年3月5日現在のものです。

(注2) 資産別、通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

ステート・ストリート先進国債券インデックス・オープン（為替ヘッジあり）

【基準価額の推移】

【1万口当たりの費用明細】

(2024年2月21日～2025年2月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	6 (2) (1) (3)	0.066 (0.022) (0.011) (0.033)
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	5 (4) (1) (0)	0.058 (0.047) (0.011) (0.000)
合計	11	0.124

期中の平均基準価額は、8,431円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。



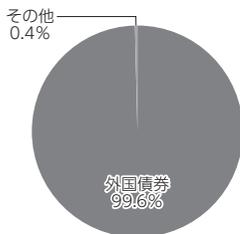
(注) グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものです。

【組入上位10銘柄】

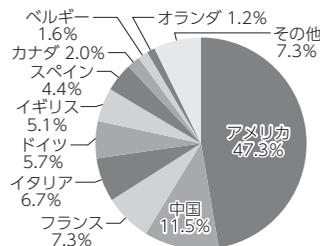
銘柄名	投資国名	通貨	比率
1 US TREASURY N/B 1.625% 2029/8/15	アメリカ	USD	1.0
2 CHINESE GOVERNMENT BOND 2.69% 2026/8/12	中国	CNY	1.0
3 US TREASURY N/B 1.5% 2027/1/31	アメリカ	USD	0.8
4 US TREASURY N/B 4.25% 2029/2/28	アメリカ	USD	0.8
5 CHINESE GOVERNMENT BOND 2.89% 2031/11/18	中国	CNY	0.7
6 US TREASURY N/B 2.5% 2026/2/28	アメリカ	USD	0.7
7 CHINESE GOVERNMENT BOND 2.3% 2026/5/15	中国	CNY	0.7
8 US TREASURY N/B 0.625% 2027/11/30	アメリカ	USD	0.7
9 US TREASURY N/B 1.125% 2027/2/28	アメリカ	USD	0.7
10 US TREASURY N/B 2.375% 2027/5/15	アメリカ	USD	0.7
組入銘柄数	583銘柄		

(注) 比率は、債券時価総額に対する評価額の割合です。

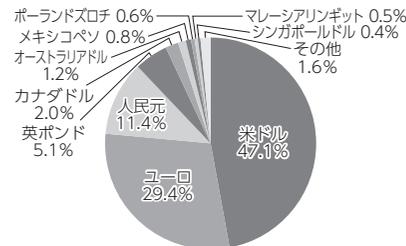
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2025年2月20日現在のものです。

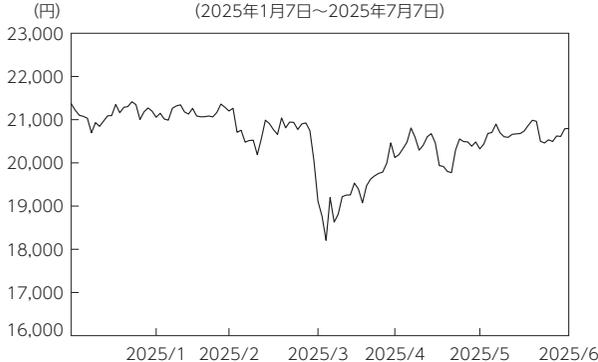
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

(注3) 未収・未払等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

グローバル・リアルエステート・ファンド (適格機関投資家向け)

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2025年1月7日～2025年7月7日)

項目	第174期～第179期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	86 (76) (2) (8)	0.422 (0.373) (0.011) (0.038)
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	8 (8)	0.038 (0.038)
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	2 (2)	0.012 (0.012)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用等) (その他)	7 (3) (0) (0) (4)	0.035 (0.014) (0.001) (0.001) (0.019)
合計	103	0.507

作成期間の平均基準価額は、20,406円です。

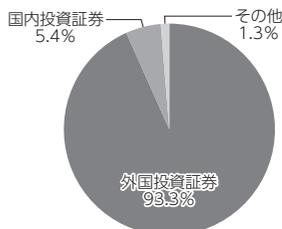
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

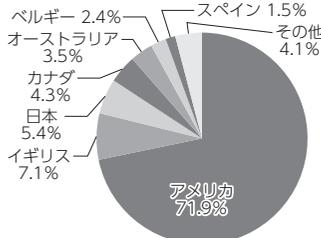
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 EQUINIX INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	7.6%
2 PROLOGIS INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	5.8%
3 WELLTOWER INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	5.8%
4 REALTY INCOME CORP	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.8%
5 SIMON PROPERTY GROUP INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.8%
6 PUBLIC STORAGE	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.4%
7 DIGITAL REALTY TRUST INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.3%
8 EQUITY RESIDENTIAL-REIT	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.2%
9 VICI PROPERTIES INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	2.8%
10 UDR INC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	2.3%
組入銘柄数			64銘柄	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

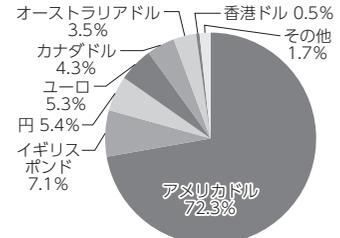
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2025年1月6日現在のものです。

(注2) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- **日本株**
Morningstar 日本株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- **先進国株**
Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- **新興国株**
Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- **日本国債**
Morningstar 日本国債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- **先進国債**
Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- **新興国債**
Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、新興国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターンの指数です。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar,Inc.、またはモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar,Inc.の関連会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstar インデックス」と言います）の能力について、当ファンドの受益者または公衆に対し、明示または黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、ちばぎんアセットマネジメント株式会社（以下、「委託会社」と言います）とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマークおよびサービス名並びに特定のMorningstar インデックスの使用の許諾であり、Morningstar インデックスは、Morningstarグループが委託会社または当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstar インデックスの判断、構成または算定を行うにあたり、委託会社または当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額および設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティングまたは売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータの正確性および/または完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者もしくはユーザー、またはその他の人もしくは法人が、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstar インデックスまたはそれに含まれるデータについて明示または黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的または使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。